

委員会レポート 環境福祉委員会

爪跡

2005.3.20
福岡西方沖地震



審査

問 補正予算に戦没者忠魂碑・供養塔復旧工事とあるが、被害の状況は

答 吉松 福祉課長 「福岡県は地震が少ない」との意識を覆す三月二十日の西方沖地震でした。

須恵町ボランティアセンター横に戦没者の御霊をおまつりしている忠魂碑と供養塔がありますが、震度五強の地震により、その忠魂碑と供養塔に亀裂・傾きが生じ、それを支えている土台にも被害を及ぼし、前面の燈籠は崩壊状態にみまわれました。

その後、余震が相次ぎこの状態では二次災害の恐れが懸念されたため、取り急ぎ忠魂碑および供養塔を撤去しました。

この度、これを復旧するための補正予算を計上し、承認後六十四日間の工期の中で復旧に取りかかる予定です。

敬老祝金の見直し

国は厳しい財政の中で「三位一体の改革」「医療費制度改革」「介護保険制度改革」等、様々な改革を進めています。

市町村においても財政のひっ迫が余儀なくされ、また市町村合併を視野に入れた他町の動向を踏まえ、将来のまちづくりを見据えた体制を構築する必要があります。

このような状況の中、ご苦労された人生の先輩方に敬意を表し、敬老祝金が支給されていましたが、昨年より当委員会と区長会代表並びに行政とで検討を重ねてきた結果、

- ◆七〇歳〜九十九歳、一律五千円と千円相当の福祉流通券
- ◆百歳以上三万円と千円相当の福祉流通券
- ◆各区の敬老祝賀会補助として、対象者一人につき千円を補助するという見直しを答申しました。

諸般の事情をご理解いただきますようお願い致します。

議員表彰

本会議の最終日に議場において、議員表彰の伝達式が行われました。

表彰されたのは次の方です。

柏屋地区議長協議会

表彰一〇年

- ◆長澤 誠司 議員
- ◆藤石 豊 議員
- ◆緒方 義人 議員

長澤誠司議員は、町議会議員、藤石豊議員は、町議会副議長で総務文教委員会委員、緒方義人議員は、建設産業委員会委員および広報特別委員会委員長としてそれぞれ要職に就かれています。



左から、緒方 義人 議員、長澤 誠司 議員、藤石 豊 議員

多年にわたり、町村議会議員として自治振興発展に貢献されたための表彰です。

今後も、経験を生きかされて夢のある「町づくり」「地域づくり」にご尽力いただきたいと思います。

6月議会を終えて



長澤 誠司 議長

今議会は十四案件が提案され、全て原案のとおり可決されました。

主なものとしては、工事関係で西原〜酒殿線（ぼた山横）道路改良事業一億二千二百六十八万円、内原〜大谷線（須恵東中学校下、守母公園沿い）道路改良受託事業一億三千九百五十万円、先の福岡西方沖地震被害により町有地一番田法面補強工事四百八十万円、戦没者忠魂碑・供養塔復旧工事三百万円、その他人

事案件、条例の一部改正などでした。

また本年は、農業委員会委員の改選の年にあたり任期が七月十九日に満了するに伴い、議会推薦の農業委員について全員協議会を開催しました。

議会サイドの農業委員の在り方として、議員選出の委員一名削減案を提案しましたが、十四人中（欠席一名）賛成五名、反対八名と意見が分かれました。

議会改革を推進

今、各自自治体は地方分権の時代を迎え、ひっ迫する財政状況の中で国からの権限移譲等により、今まで以上に自らの創意工夫、責任を持って行財政運営をしていかなければ

なりません。

また急速な社会変化に伴い住民ニーズは複雑・多様化しており、旧来の行政システムでは対応が難しくなっています。

我々議会としても同じことが言え、長期にわたり保たれてきた制度と運営は、それだけ歴史の重みがあり良いのですが、これからは時代に即した議会制度の構築・改革が求められます。

我々はこのような状況を踏まえ、改革ができるところは改革を進め、なお一層の住民の視点に立った議会運営に心がけていきたいと思えます。

今後とも町民皆様のご理解・ご支援をよろしくお願い致します。